

プログラム名 ブラインドツアー		活動時間 60～90 分
概 要	○4～6人グループで、目隠しをした状態で声を掛け合い、ロープをつたいながら下山する。 ○最大人数 70人（それ以上の場合は相談） ■無料	
ねらい (SDGs)	 	○視界を遮られる非日常的な状況の中、グループ内での助け合いを通して、パートナーシップの育成・向上につなげる。
準備物 (服装など)	○教育センター・・・救急セット ○研修団体・・・運動着（長袖、長ズボンが望ましい） 軍手、アイマスク、眼鏡ケース	
研修の流れ	○集合場所に整列（団体引率者の指導） ○準備体操 ○活動の説明（センター職員） ○コースに移動 ○練習コースを行う（約10分） ○本番コースを行う（20～30分） ○集合し終わりのあいさつ ※60分予定の場合の時間	
研修場所	集合場所 ○屋外・・・冒険の森 下広場 （裏面参照） ふれあいの広場	活動場所 冒険の森 ブラインドツアーコース
研修生への 留意点	○班でまとまって活動する。 ○アイマスクをしっかりと付ける。 （手ぬぐいの場合は、しっかり結んでおく） ○ロープは両手でしっかり持つ。 ○ロープの分岐点は、1本のロープを選択し進んでいく。 ○木やロープによって妨げられて前に進めない場合は、ロープを左右にくぐりながら進んでいく。 ○ロープをわざと揺らさない。 ○地面がどんな状態か、どちらの方向に進んで行くのか、ロープをくぐるかなど、グループで声かけをしながら共有する。 ○班員とぶつからないように適度な間隔をとる。 ○楽しみつつ、怪我をしないように落ち着いて活動する。	

○事前準備

- ・ 研修生の班分けをする。(4～6 人が望ましい)
- ・ 引率者の観察ポイントの配置を決めておく。
(各コースのスタート、コース上観察地点、ゴール地点)
- ・ 軍手、目隠し、眼鏡ケースを準備する。
(手ぬぐいも可だが、アイマスクの方が好ましい。)

○研修当日

- ・ 集合場所に整列させる。(時間厳守)
 - ・ 研修生の眼鏡を回収する。
 - ・ 活動中は、各観察ポイントにて、観察及び指導をする。
- ※引率者にスタートの合図をお願いする場合があります。
- ・ ゴール地点の引率者は、目隠しを取らせ、終わりの集合場所で待機させる。
 - ・ ゴール後の研修生の管理を引率者で行う。

引率者への
留意点

班分け
4～6 人班

